



「砂留文化を次世代へ繋ごう」

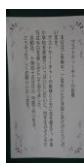


2020(令和2)年7月23日 堂々川ホタル同好会情報紙 2020年度第3号 (創刊より187号)

1. 今年も梅雨の末期がやってきた。例年あることだが集中豪雨！昔をたどれば今から347年前1673年(寛文13年5月14日 旧暦；新暦は7月4日頃)、最上流の大原池が決壊し、元国分寺あたりが、土石流に襲われ63人が亡くなった歴史がある。
2. 7月19日定例会 参加者14人で球根は2カ所へ。5番川原へ330球。5番砂留下方斜面は、1108球植栽した。蝉が鳴き、梅雨が明けたような日だった。
3. 前日から一部の会員が植える場所の草刈り・整備をしており、コロナ対策にもなった
4. 今年、小学生と一緒に球根植栽は中止、代替企画の御野・中条小を花一杯運動で盛り上げ、環境や歴史を学ぶ初回ゲストティーチャーを基金代表が務め花の種を植えた。
5. 先月報告済の水環境学会殿の表彰とメダルは、御野公民館殿で掲展示された。
6. 7月20日中国新聞殿の記事になる。彼岸花の開花数中国地方NO.1を目指して！
7. 写真で見る二ユース



小学校で環境体験学習の指導



基金会長は植栽への準備



植栽場所の草刈りと整備(前日)



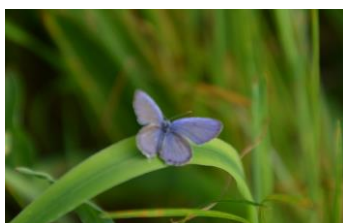
球根植栽



4番川原の草刈り



5番下斜面に球根植栽



ツバメシジミ♀ 綺麗な蝶



彼岸花科ナツズイセン開花

今回から タイトル「砂留文化」左右のイラストは同好会の役員 乗藤さんの作品をお借りして掲載します。

8. 次回定例会 予定日 時間場所

8月23日(日) 8時 日時が基準、彼岸花が咲く場所の草刈り

ホタルの幼虫の餌カワニナを確保順次4, 5番へ放流して欲しい

9. 発行責任者 堂々川ホタル同好会 会長 土肥 徳之

堂々川の砂留を知ろう (7月14日)

幸いにして2018年の西日本豪雨の降水量には至らなかったが14日3時30分～7時30分の4時間で約50mmの雨量。もし砂留が無かったら！下流は土石流被害が起きていてもおかしくない。この砂留が江戸時代の築造なのだ。先人に感謝！

(皆で守ろう 砂留を！・・・砂留が急流を減している---詳しくはホームページ参照↓)



迫山砂留下方(急流)



2番砂留下方(急流)



3番砂留の水



4番砂留左岸堰堤一部崩落
(上流から見て左側)



4番砂留の水



5番砂留の水



6番砂留基礎部



鳶ヶ迫砂留群の水



堂々公園で家族連れが水浴

会員が川を綺麗にしてよかった

堂々川彼岸花基金のご支援情報

「みのだより」でお約束しています。下記にお名前を掲載します(順不動、敬称略)

丸山 孝志	高橋 孝一	武田 武美	諏澤 竹人	渡邊 文夫
小島 八重	奥村 共栄	櫻井 道雄	櫻井 幸子	宮永 美恵
高橋 和子	藤井 保夫	中山 晋一	諏澤 敏弘	三浦 典子
坂本 和子	内田 明博	他に匿名希望の方が2名		
球根提供	井原市 木田 千晴			

現在皆様のご支援金額は合計約24万円です

◎ 堂々川のホームページがスマホから見られます。QRコード⇒
アドレス dodogawa.com

